

令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	公益社団法人日本トライアスロン連合
事業細目名	国際競技大会開催事業
事業名	ワールドトライアスロンカップ(2023/宮崎)
助成金額	34,529,000 円

■調査内容

令和5年度国際競技大会開催助成を受け、「ワールドトライアスロンカップ(2023/宮崎)」を開催した公益社団法人日本トライアスロン連合の調査を実施しました。

ワールドトライアスロンカップ(2023/宮崎)は、令和5年10月28日(土)から29日(日)の2日間に渡って開催されました。第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)の選考対象レースに指定されている本大会には、世界各国からオリンピック出場を目指すトップアスリートが参加しています。開催にあたっては、ワールドトライアスロン(IF)から要請される国際基準を満たすことや安全対策について苦労が多かったといます。そのため、宿泊先やトレーニング環境整備等アスリートサービスの充実、地域自治体との調整による競技コース設営、救護チームの配置、緊急時対応計画の作成など万全の体制を整えていることが伺えました。

調査当日はエリート男子競技やエリート女子競技等が実施され、各国の選手に大きな声援が送られていました。エリート男子競技ではゴール直前まで激しいデッドヒートが繰り広げられ、最後の直線で抜け出したヒューゴミルナー選手(イギリス)が優勝し、大会を大いに盛り上げています。また、キッズ・ジュニアの部を控える子供たちが楽しそうに観戦している姿を見て、子供たちの成長とトライアスロン競技の普及につながると感じました。

本大会への助成は、助成事業者の公益社団法人日本トライアスロン連合とこの大会への一助となるだけでなく、トライアスロン競技のすそ野拡大にも好影響があったものと考えます。今後の日本のトライアスロン競技の更なる発展と、競技力の向上に繋がることを願っています。

(令和5年10月28日往訪)

2023Miyazakitriathlon_1.jpg	2023Miyazakitriathlon_2.jpg
(写真) ワールドトライアスロンカップ(2023/宮崎)の様子	
	